

横浜市中村地区センター 指定管理者事業計画書			
申込年月日 平成26年 8月15日			
団体名	特定非営利活動法人 みなみ区民利用施設協会		
代表者名	理事長 石井 正雄	設立年月日	平成22年 6月 1日
団体所在地	横浜市南区浦舟町3丁目46番地 浦舟複合福祉施設10階		
電話番号	045-243-8411	FAX番号	045-232-9669
沿革	<p>みなみ区民利用施設協会は、区内の区民利用施設の管理運営を目的に平成7年4月に設立された南区区民利用施設協会を前身としております。多様化する社会環境の中で安定した施設の管理運営を目指し、平成22年6月に特定非営利活動法人として法人化し、これまでの経験を活かして不特定多数のものの利益の増進に寄与することを目的に再出発し、平成23年4月から本格的に事業を展開しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 平成7年4月 南区区民利用施設協会設立 地区センター(老人福祉センター併設を含む)3館、コミュニティハウス・こどもログハウス及びスポーツ会館各1館の管理運営を始める。 <input type="checkbox"/> 平成17年3月 中村地区センターの指定管理者となる。 <input type="checkbox"/> 平成17年5月 浦舟コミュニティハウスの指定管理者となる。 <input type="checkbox"/> 平成18年4月 南・大岡・永田地区センター、陸・六ツ川一丁目コミュニティハウス、六ツ川スポーツ会館及びこどもログハウスの指定管理者となる。 <input type="checkbox"/> 平成20年5月 蒔田コミュニティハウスの指定管理者となる。 <input type="checkbox"/> 平成22年6月 特定非営利活動法人みなみ区民利用施設協会を設立する。 <input type="checkbox"/> 平成23年4月 指定管理業務を旧協会から継承する。 <input type="checkbox"/> 平成24年3月 別所コミュニティハウスの指定管理者となる。 <input type="checkbox"/> 平成26年4月 六ツ川台及び永田台コミュニティハウス管理受託(開所以来継続) 		
業務内容	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 地域に根ざした公共施設 </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 地域住民の誰もが自主・自立した文化やスポーツ活動を行うに あたり、公平・公正かつ安心して利用できる施設の管理運営 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ニーズを的確に把握し、誰でも参加できるプログラムを作成 ⇒ 地域交流と新たなグループや地域コミュニティの育成 及び継続的な活動支援 ○ 地域活動、文化活動に関する情報の収集及び発信 ⇒ 「活動グループの紹介」・「地域行事や活動団体の様子」・「当協会が運営する 12の施設」などの情報発信、横浜市や関連団体の情報提供。 ○ 各種活動の機会や場所を必要としている方々への相談、調整、助言 ○ 利用者の声や各館の委員会の意見を反映させた施設運営の推進 館長会及び副館長会やスタッフ会議を利用した情報の共有化 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 区民の利用しやすい施設運営を目指します。 </div>		
担当者 連絡先	<div style="background-color: black; height: 15px; width: 100%;"></div> <div style="background-color: black; height: 15px; width: 100%;"></div> <div style="background-color: black; height: 15px; width: 100%;"></div>		

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における中村地区センター指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

みなみ区民利用施設協会は、旧協会からスタートして20年目を迎え、現在、区内12施設の管理運営を行っています。これまでの管理運営を通じて培ってきた経験や地域との連携を活かし、地域コミュニティの醸成に寄与するよう、次の経営方針のもとに地域に根ざした経営を今後とも推進してまいります。

【経営方針】

- 1 地域の誰もが気軽に利用することができ、「楽しかった」などまた利用したくなる施設を目指します。
- 2 地域住民の自主的な活動を支援し、地域コミュニティの醸成、地域の連帯意識の形成を図ります。
- 3 創意工夫による魅力的な自主事業を行うことで、参加者の裾野を広げ、利用者の拡大につなげます。
- 4 自ら考え、話し合い、無駄なエネルギー消費を減らすなど環境に配慮した施設運営を心掛けます。

業務の実施にあたっては、地域ニーズを見極めるとともに、地域の方々が自主的な活動を通じて地域交流を図る場として利用される施設を目指し、各地区センター等の運営管理経験を活かし、一人でも多くの来館者を確保するよう努めてまいります。

主要業務としては、地域の方々のニーズに合わせた誰でも参加できるプログラムを通じてのグループづくりの助言・調整、地域コミュニティづくりの支援及びそれらのグループが継続して活動できる拠点づくりなどを目指し、各地区センターやコミュニティハウス等が連携して管理運営を行います。

また、各館のスタッフが施設運営に専念できるよう、スケールメリットを活かした会計経理・労務等の管理業務を協会事務局が一括して行うことにより、効率的、効果的な運営や経費の縮減を可能とし、利用方法においては、協会内での統一性を図ることにより、利用しやすく、わかりやすい管理運営を実現していきます。

イ 応募団体の業務における中村地区センター指定管理業務の位置づけ

中村地区センターの指定管理も10年目を迎え、利用者数も着実に増え開館時と比べても約1.5倍となっていることから地域住民の交流が進み、地域や利用者さんとも顔の見える関係が構築されてきております。

中村地区センターの指定管理業務は、当協会が市民利用施設の管理運営や地域交流支援など『まちづくりの推進を図る活動』によって当地域における地域貢献を果たす上で、大変重要な業務と位置付けており、当施設が下町気質の残る地域の皆さまに愛され、利用される「居心地の良い憩いの場所」の中核施設となり、地域における重要な活動拠点として活用されるような施設運営を目指します。

また、隣接する地域活動ホーム「どんとこい・みなみ」や近隣の浦舟地域ケアプラザ、浦舟コミュニティハウス、市民活動・多文化共生ラウンジ等と連携することで、南区東部のさまざまな情報受発信の拠点にもなり得ると考えますので、中村地区センターが中心となって、これら周辺施設との連携をより深め、地域が一体となって進める「つながりの輪を広げよう」という取り組みに対しても支援してまいります。

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

現在管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市六ツ川台コミュニティハウス	神奈川県横浜市長南区	平成7年4月	受託運営業務
横浜市永田台コミュニティハウス	上に同じ	平成9年4月	上に同じ
横浜市中村地区センター	上に同じ	平成17年3月	指定管理業務
横浜市浦舟コミュニティハウス	上に同じ	平成17年5月	上に同じ
横浜市南センター	上に同じ	平成18年4月	上に同じ
横浜市大岡地区センター	上に同じ	平成18年4月	上に同じ
横浜市陸コミュニティハウス	上に同じ	平成18年4月	上に同じ
横浜市六ツ川一丁目コミュニティハウス	上に同じ	平成18年4月	上に同じ
横浜市六ツ川スポーツ会館	上に同じ	平成18年4月	上に同じ
横浜市永田みなみ台公園こどもログハウス	上に同じ	平成18年4月	上に同じ
横浜市蒔田コミュニティハウス	上に同じ	平成20年5月	上に同じ
横浜市別所コミュニティハウス	上に同じ	平成24年3月	上に同じ

(2) 中村地区センター管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

地区センターは、地域の住民が自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、講演会、研修会、サークル活動などを通じて相互交流を深めることを目的として設置しています。

中村地区センターが、幼児からお年寄りまでの幅広い層の市民に親しまれ、地域の活動拠点として多くの方に利用され、様々な活動をきっかけとして、当地域のコミュニティの醸成や地域連帯意識の形成へと繋がりを見せていることは、南区の「区民の皆さまとの協働で『あったかい』まちをつくります」という区政の基本目標達成に向けた施策に資するものと考えます。

運営にあたっては、常におもてなし(ホスピタリティ)の心をもって接遇し、「地域に根ざした、区民に親しまれる、使いやすい施設」、いわば「街の人々と近隣施設をつなぐ・拠点」づくりに取り組めますが、さらに魅力あるプログラムの提供やスムーズに地域活動へ参加できるノウハウを提供することなども、地域支援の視点では大切なポイントと考えています。

イ 地域特性、地域ニーズ

地域特性

中村地区は、中村川沿いから南側の丘陵地の地形や緑地を取り入れて住宅地が形成されています。戸建住宅を中心とした古くからの住民が居住し、人情あふれる下町気質が残る地域で、自治会・町内会活動を中心とした地域活動が活発で地域での連帯意識も強い地区です。高齢化率も25.8%と高く、日本の高度成長を担った団塊の世代で、定年を迎えた60歳代の方が多くいます。

また、市内で3番目に外国人が多く居住する南区にあって、当地区は中区に隣接し、中華街も近くに控えていることから中村地区センターでの外国人利用者が多く、利用者の年齢構成も他の地区センターと異なり、比較的若い世代の利用者が目立ち、利用者ニーズも多様化し、様々な課題も抱えています。

地域ニーズについて

中村地区では、「地域交流の機会を広げるために」、「地域活動を活性化するため」、「つながりの輪を広げるために」、「災害時に支援が必要な人への援助ができるように」という課題をテーマに地域で取り組んでいます。地区センターでは、これら地域の取組を地域ニーズと捉え、その取組に対して担い手の育成という観点から地域を応援します。具体的にはセンターの運営を通じてサークル活動の立ち上げとフォローアップ、孤立しがちな団塊世代の地域デビュー支援や子育て支援など様々な活動により地域の人材の発掘や育成を図り、そのことが地域の活性化・地域力を高めることに繋がり、地域コミュニティの醸成や地域連帯意識の形成に寄与すると考えます。センターの管理においても、地域活動の支援とともに、引き続き当地域の皆様に愛され、利用される「居心地の良い憩いの場所」の中核となる施設を目指し、より多くの利用者確保します。

また、地域の課題解決のためには、周辺地域の地域活動ホーム「どんとこい・みなみ」や近隣の浦舟複合福祉施設にある浦舟地域ケアプラザ、浦舟コミュニティハウス、市民活動・多文化共生ラウンジなど、これら団体・施設との密なる連携も求められますので、定期的な情報交換、事業協力や共同イベントの開催などにより連携を深め、相乗効果をもたらしたいと考えます。

ウ 公の施設としての管理

公の施設としての中村地区センターの運営管理については、「いつでも・誰でも」、「公平・公正」、「安全・安心」に利用できる施設として地域の中で根を張り、定着することを目指します。

- ※ お客さまの立場になって、温かく親切な接遇をしていきます。
- ※ 自主事業などを通じて、相互交流の場づくりを支援します。
- ※ 安全・安心な施設の提供を推進します。
- ※ 会計経理、労務等の管理業務を協会が一元的に行うことで常に経費の効率的な執行と削減(効率的運営)に努めます。

☆中村地区センターの運営基本方針を定め、職員スタッフがポケットカードにして携帯。

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

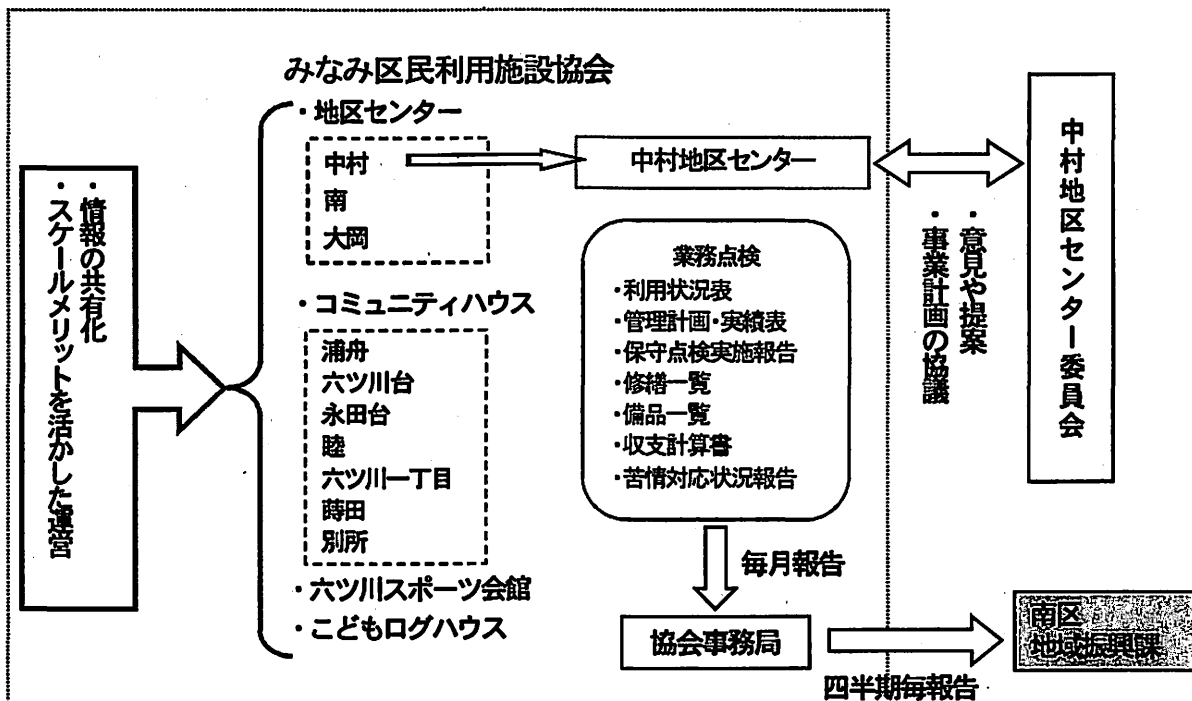
■ 組織体制

・情報の共有化

各施設の管理運営に必要な会計経理や労務などの事務を事務局に一元化するとともに、定例的に館長会議、副館長会やスタッフ会議を開催し、その都度課題や利用者から寄せられた意見要望に対する協議を行い、均衡を図った対応をします。

・スケールメリットを活かした運営

毎月、前月業務の実績を事務局へ報告するとともに、管理状況や予算執行状況を分析し、総括することでスケールメリットを活かした運営を目指します。



■ 中村地区センターの運営にあたっては、以下の人員体制とします。

1	館長	管理運営の総括	●	共通	平日	早番	8時45分～16時45分
2	常勤職員	経理担当	●			遅番	13時15分～21時15分
3	常勤職員	* 自主事業担当	●		日・祝	8時45分～17時15分	
4	時間給職員	常勤職員の補助	●	隔週3交代勤務	4時間/日	・A時間帯(午前) 9時～13時 ・B時間帯(午後) 13時～17時 ・C時間帯(夜間) 17時～21時	
		館内美化担当	●	隔週	3時間/日	8時30分～11時30分	

*自主事業は、地域要望の高いプログラムの具体化

長年にわたる市民利用施設の管理運営の経験を活かし、最少人数で最大効果が生まれるような体制で臨み、人件費の削減に努めます。

●常勤職員は広く人材を求めることとしますが、時間給職員については、地域性を考慮し、区内在住者又は近隣居住者を公募いたします。公募にあたっては、特に資格取得の必要はありませんが、健康で協調性や社交性が高く、なおかつボランティア精神を持つ人材を求めます。

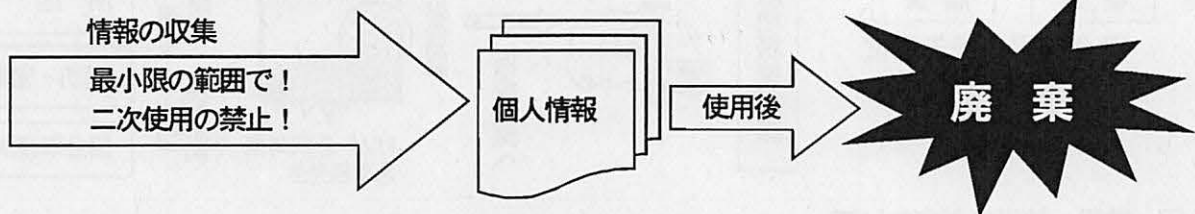
(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

■ 個人情報保護等の体制

横浜市個人情報保護に関する条例及び個人情報取扱特記事項に基づき、個人情報を適切に取り扱います。

- ① 個人情報の収集は、使用目的を特定して必要最小限の範囲とし、特定した目的外の使用は致しません。
- ② 個人情報の取り扱いについては、常日頃、職員全体で問題意識を持つよう毎日のミーティングの機会を捉え、適宜周知徹底します。(例えば、新聞紙上等マスコミを通じて「個人情報の漏洩の記事」が出た場合、当該記事を職員全体に周知し注意を喚起するようにしています。) また、「取り扱いチェックシート」を活用して、持出し禁止やPCのパスワード対応などを徹底します。
- ③ サークル活動に伴う団体名や代表者などの問い合わせについては、あらかじめ了承を得た内容のみを提供することとします。
- ④ 漏洩を防止するため、個人情報記載書類等の保管は施錠できる書架に限り、不要となった個人情報はその都度、書類名称・枚数・処分日等を記録の上、破棄(シュレッダー処理)します。
- ⑤ 個人情報の取扱いに関して万一、苦情が寄せられたときは、館長に報告するとともに事務局・地域振興課に報告し、適切かつ迅速に処理します。



■ 職員の研修計画

社会経済情勢が大きく変化し、また少子・高齢化社会を迎え区民が利用する地域施設に対するニーズはますます多種多様化しています。

こうしたニーズを踏まえ、職員が、法令順守、公平・公正な対応や安全性の確保などの確な対応をすることにより、利用者への安心と快適さを確保するよう、「スタッフ実務マニュアル」など、独自に作成した学習効果の高い資料を教材に、サービス向上に向けた施設運営の研修をはじめ下記のような研修を行い、職員意識の向上を図ります。



平成26年度全体研修

研修実施計画一覧表

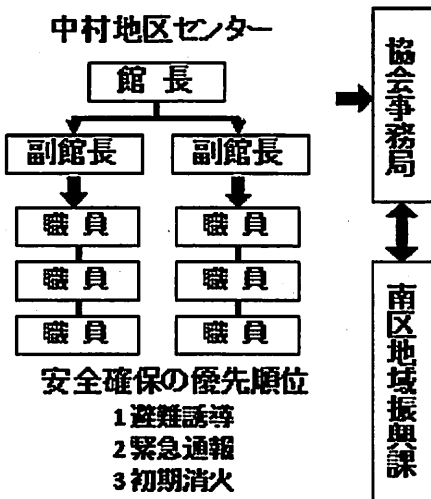
	研修の種類・目的
採用時研修	新採用職員全員に対し、「経営方針」「施設の設置目的と役割」「施設に関する管理運営」「接遇対応の基本」「指定管理者制度」等を中心に採用時研修を実施します。
全体研修会	全職員を対象にして全体研修を年1回開催し、個人情報保護・接遇・人権問題等に関する意識を高めます。
専門研修	館長については、各種相談に対する調整や助言が適切に行えるよう、横浜市や関係団体が実施する研修に随時参加し、専門知識の習得に努めます。
スタッフ研修	「スタッフ実務マニュアル」による受付業務や図書貸出業務など日常業務のほか、AEDの取扱いや施設の維持管理業務などの研修も適宜行います。
個人情報保護研修	採用時及び年度当初に館長から全職員に対して個人情報保護に関し職場研修を行います。

(3) 組織体制

ウ 緊急時の体制と対応計画

緊急時の体制

緊急時に迅速かつ適切に行動できるよう、職員には前もって「避難誘導」・「初期消火」・「緊急通報」の諸活動を日頃から訓練しておきます。連絡網も明確にしており、いざという時に慌てることの無いよう、機会あるごとに意識をうながします。また、周辺は小学校をはじめとする公共施設も多く、住宅に囲まれた地域でありますので、日頃から学校関係、中村地区連合町内会の方々とも連絡を密にし、協力体制を強化します。

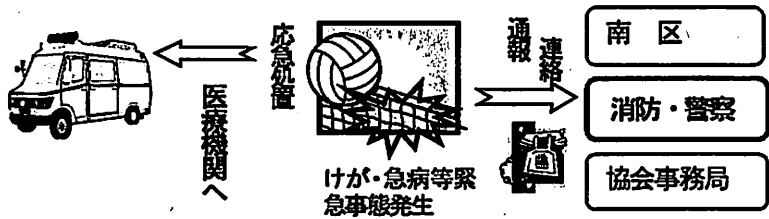


安全確保の優先順位

- 1 避難誘導
- 2 緊急通報
- 3 初期消火

緊急事態が発生した場合には、すぐに館内の利用者に情報を提供するとともに、緊急連絡網を基に電話・FAX・Eメール等を駆使して、情報伝達に努めるとともに臨機応変に事態に対処します。併せて、区役所・医療機関・警察・消防との連絡体制を確保します。

館内で発生した事故には、救急医療薬品を常備し、職員全員にAED操作など救急救命の研修・消防訓練を実施して応急処置を施せるようにして利用者の安全を確保します。



防犯、防災の対応について

緊急事態が発生した時は、慌てず落ち着いて且つ迅速な対応が必要です。的確な対応をするためには、普段の心構えと事態を想定した訓練も必要です。また、状況によっては臨機応変に対応し「安心」・「安全」を確保することを第一とします。

防犯、防災の体制について

- ① 消防法に基づいて策定した中村地区センターの消防計画に、防火・防災管理業務について必要な事項を定め、火災、地震、その他の災害の予防及び人命の安全、被害の軽減を図ります。
- ② 施設には防火・防災管理者を配置して自衛消防組織を編成し、消防署の指導に基づき各設備の点検を日ごろから行うとともに、消防計画に基づき、利用者の安全を第一にした職員の実践的な避難訓練や防災訓練等を定期的実施します。
- ③ 盗難等の犯罪防止は利用者に注意を喚起するとともに、職員による館内の巡回を強化し、また警察の協力も得ながら警ら等を実施し、犯罪の発生を未然に防止します。

具体的な防犯、防災対策

具体的な防災・防犯対策の基本は、「緊急防犯マニュアル」、「防災マニュアル」、「事故対応マニュアル」に定め、いざという時の連絡体制を全職員に周知徹底しています。

- ① 「マニュアル」に基づいて、日常から職員全体に防犯・防災に対する備えを周知徹底させるとともに、日々イメージトレーニングをして有事に備えます。
- ② 利用者会議の中などで、施設の避難経路や地域防災拠点の案内をするとともに、避難時の心構えなどについて、説明します。
- ③ 災害時における在宅要援護者用の特別避難場所の「開設及び運営に関するマニュアル」に基づき、地域医療救護拠点(中村小学校)や関係機関との円滑な連携を図れるよう、事前に情報交換を行い顔の見える関係を構築します。
- ④ 敷地内に標高を示すプレートを設置することにより、利用者に対する津波の発生時における避難判断基準を明確にし、周辺住民へも情報発信します。
- ⑤ モニターカメラにより利用者の安全確保等を図り、その映像については、「防犯カメラの設置及び運用に関する基準」に基づき適正に処理します。
- ⑥ 当館は、子どもたちの利用も多いため、近隣小中学校と夏休み中の子どもに関する情報を共有し、子どもたちの利用マナーや生活指導にも努めていきます。

(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
- イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

「地域に根ざした、区民に親しまれる、そして使いやすい施設」、いわば「街の人々と近隣施設をつなぐ・拠点」としての地区センターを目指し、以下の事業を展開していきます。

地域の子どもの居場所を提供

- ・「子育て相談」や月1回の「おはなし会」など、子どもの育成に寄与する事業を支援・展開します。
- ・「カラオケ大会」や「麻雀入門」など、高齢者が健康を維持しながら生活を楽しんでいけるような自主事業の企画・運営を推進します。
- ・施設に出入りする子どもたちの安全とトラブル防止のために、施設が独自に策定した「こどもなんでも相談110番」に基づき、職員が警察・学校とも連携して対応します。
- ・外国人の利用者のために4か国語の利用案内を作成しています。
- ・地域の子どもの対象とした「こども用施設案内マニュアル」を作成し、公共施設利用マナーの指導など地区センターへの理解と応援ファンを増やすため、コミュニケーションを図ります。

地区の減災や災害時支援

- ・中村地区センター周辺は下町に見かける狭い道路や木造家屋が多く、災害時の減災対策が課題となっていますので、要援護者の支援などの課題に対して、防災訓練への参加・役割確認・情報交換を進めていきます。

地域の活性化のための連携

- ・区福祉保健センター主催の中村・浦舟エリア虐待防止会議、平楽中学校の地域・学校連携事業実行委員会及び地域活動ホームどんとこい・みなみ等の運営委員会に参加し、積極的に関係機関等と連携を図り、地域の活動を支援しています。
- ・他の公的施設とも連携し、町内会や周辺団体との相互交流や支援を図ることを目的とした共催イベント「レインボーフェスタ」を毎年開催し、地域及び周辺施設・団体との連携・交流を促進することで、地域の活性化・地域力アップに引き続き貢献していきます。

イ 利用促進策**広報活動の充実ホームページの充実と活用**

- ・近隣の3連合町内会の掲示板に自主事業広報「中村地区センターだより」を毎月掲示及び町内回覧をすることにより、地域の皆様に中村地区センターの新鮮な活動状況について情報発信していきます。
- ・ホームページの内容を、より充実させ、イベント情報や新着図書情報など中村地区センターの魅力をわかりやすく、タイムリーに紹介します。
- ・新規自主事業の企画や自主事業の開催時間の工夫をすることにより、新たな利用者の確保や新規サークル活動の立ち上げ支援など、新たな交流の輪・地域での絆づくりを応援します。
- ・稼働率の低い時間帯・部屋の利用料金の見直しを検討し、より使いやすく、喜ばれる施設運営を進めます。
- ・個人利用の活動種目によっては、利用者間での大会を企画し、より施設への魅力、愛着を持っていただき、利用率アップを図ります。

その他の利用促進策

- ・近隣小中学校の懇談会や学校行事の一部・地域自治会の会議等を優先利用の対象とするなど、地域の活動支援と利用促進をしていきます。
- ・自主事業OB会のサークル化への支援、クリスマスコンサートの開催のほか、「作品展示など団体発表の場」の提供や当館を拠点として活動するサークルの講師を務める「街の先生の紹介展やデビュー講座」の開催など団体活動や生涯学習教育を支援することにより利用促進を図ります。
- ・その利用促進を通じて、地域の自主的な活動を支援するとともに、地域の担い手となる人材の育成にも努めます。

(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について (※地区センターのみ該当)

利用率の想定

過去の利用状況から、たとえば利用率の低い夜間の時間帯には1コマ2時間の利用時間枠を設けるなど、利用率向上に向けて利用区分の一部見直しも視野に入れていきます。

利用料金の設定

中村地区センターの利用料金は地区センター条例に定める範囲内で下表のとおりですが、この料金設定は利用者にも充分浸透しているものと考えます。また、他の地域の地区センターと比較しても大差なく、利用しやすい料金であり、利用料金の基本設定は現行どおりとします。

【利用料金】(消費税を含む)

会議室や体育室など、次の表に掲げる部屋を貸し切りで利用される場合は、それぞれに定められた利用料金をお支払いいただきます。利用日当日、引き続き利用可能な場合、1時間単位の利用料金を支払うことにより、延長利用することができます。

室名	定員	平日 (3時間)	日曜・休日 (2時間)
小会議室1	18	540円	360円
小会議室2	18	540円	360円
小会議室3	12	390円	260円
中会議室	48	1080円	720円
工芸室	24	690円	460円
和室	20	870円	580円

室名	定員	平日 (3時間)	日曜・休日 (2時間)
料理室	24	660円 平日・日曜休日共2時間	
多目的室	42	1260円	840円
体育室(全面)		1980円	1320円
体育室(2/3面)		1320円	880円
体育室(1/3面)		660円	440円

○ 利用日当日において、当日利用時間の利用開始時刻を超過した時点で、利用申込みがあった場合に限り、次の経過時間に応じて、1時間単位で利用料金を減額する。ただし、料理室は対象としません。

経過した時間	平日	日曜・休日
30分以上	各部屋料金の2/3	各部屋料金の1/2
1時間半以上	各部屋料金の1/3	

(4) 施設の運営計画

- エ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- オ 利用者サービス向上の取組
- カ ニーズ対応費の使途について (※地区センターのみ該当)

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映**地区センター委員会・利用者会議等**

- ・地区センター委員会や利用者会議でのご意見ご要望を運営に反映しています。
- ・定例の連合町内会や地区懇談会などに出席し、地域ニーズを把握しています。

センター委員会	新刊図書情報を地域にPRしては？	館内、ホームページに毎月掲載
---------	------------------	----------------

利用者アンケート

- ・期間を決めてアンケート調査を実施し、個人利用者の声を運営に反映させています。

利用者アンケート	料理室にトレーがあれば便利です	移動式トレーを常設しました
----------	-----------------	---------------

利用者からのクレーム・ご意見箱

- ・ご意見箱を常時設置して、いつでも要望を受けつけ利用者ニーズに迅速に対応しています。

クレーム対応	図書コーナーから学習室の中が丸見えで落着いて勉強ができない	職員対応で、窓に半透明のシートを貼りました。
--------	-------------------------------	------------------------

オ 利用者サービス向上の取組

- ・当協会が管理する他の地区センター・コミュニティハウスで開催予定の自主事業を、来館した利用者がジャンル別に自主事業を探せるよう毎月各館に一覧表にして掲示し利便性の向上を図っています。
- ・図書の貸し出しにあたり、予約サービスを行っています。
- ・利用者会議を活用して出席者による抽選会を開催していますが、利便性向上の観点から来館しないで行う抽選会方式についても、現行方式の利点も考慮し、利用者からの意見を聴きながら検討します。また、現在の翌月分利用予約の抽選を2か月先の利用予約とすることも検討します。
- ・協会が複数管理する施設のスケールメリットを活かし、他施設の空き室情報の提供やその場での他施設の仮予約を行います。
(例) 近隣の浦舟コミュニティハウスへの空き室照会・仮予約や楽器演奏団体への施設案内

カ ニーズ対応費の使途について (※地区センターのみ該当)

- ・ニーズ対応費の使途については、年1回「センター委員会」に報告して、ご意見をいただくほか、利用者会議の場において要望のあった備品購入を中心に、消耗した備品の買い替えや備品のグレードアップなど有効に活用し、利用サービスの向上を図っています。

購入例

- ・平成22年度：受付待ちの子ども用チェア・児童図書用本棚の設置によるプレイルームの充実等
- ・平成23年度：利用案内パンフレット制作・時間外返却用の図書ポスト・更衣室用扇風機の購入等
- ・平成24年度：七夕笹・絵本架・CDラジカセ等
- ・平成25年度：プロジェクター・非常用携帯ランタン(照明)・譜面台・ままごとセット等

(4) 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組

キ 本市重要施策に対する取組

情報公開

横浜市は、平成12年2月に 横浜市の保有する情報の公開に関する条例 を制定し、市民の知る権利の尊重と、市の市政に関する説明責務を明記するとともに、行政文書の開示を求める権利を広く何人にも保障しています。

協会においても「情報の公開に関する規程」を定めており、中村地区センターでは「事業報告書及び事業計画書の閲覧」などについて、閲覧に関するお知らせを館内に掲示し、閲覧を希望する方々へ開示しています。

また、毎年行っている利用者アンケートの結果や意見要望への回答も館内に掲示するなど、情報公開に努めています。

人権尊重

横浜市が掲げる目標「一人ひとりの市民が人権を尊重しあい、ともに生きる社会の実現」の達成に向けて、みなみ区民利用施設協会では、職員及びスタッフの人権感覚を高めるため、毎年全体で研修を実施しています。

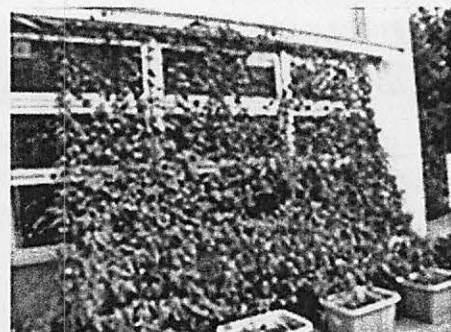
特に中村地区センターは、隣接地に地域活動ホーム「どんとこい・みなみ」という障害者施設があることから多くの障害者団体の利用があることや周辺地域に外国人の方が比較的多く居住し、外国人の方も体育室の個人利用に訪れていることなどから、機会あるごとに人権尊重の大切さを話し合うこととしています。

また、障害者支援の一環として「どんとこい・みなみ」が製造するパン・クッキーの販売用にセンター1階ロビーを開放し、利用者との交流を図る機会を提供することにより区民に対する障害者理解への啓発も行っています。

環境への配慮

低炭素型まちづくりを進めるため、「横浜市地球温暖化対策実行計画」等に基づき、温室効果ガスの排出削減をあらゆる場面で実施します。

- ・工作物の長寿命化により、排出される温室効果ガスの低減に努めるため、施設の劣化に対し、早めに手をかけています。(木製ベンチのペンキ塗りなどを職員対応で実施、)
- ・事務用品や設備等の確保に際してはグリーン購入を図るほか、LED照明に交換しています。
- ・廃棄物等の発生抑制のため、裏紙の利用促進、ごみの減量化のため分別、遊具や設備は職員が直して再使用及び再生利用を図っています。(椅子カバーの汚れをスタッフにより洗濯再設置、図書本の修復など実施しています)
- ・冷暖房、電気、ガスの節減対策を推進しています。
ガス使用量(22年度比) 25年度-61.4%
電気使用量(22年度比) 25年度-80.6%
- ・南区が推進する「緑のカーテンプロジェクト」に率先して取り組むなど、光熱水費の経費縮減に向けて計画を実行しています。



市内中小企業優先発注など

- ・電気器具・設備の補修、畳の張替に地元町内の工事店を利用しています。また、襖の張替にシルバー人材センターを利用するなど、積極的に市内の中小企業を優先して利用しています。

(5) 自主事業計画

自主事業計画の考え方

地区センターは地域住民が自主的に活動して相互の交流を深めることのできる場であり、そこで行われる自主事業は新しい地域コミュニティの醸成を目的としています。

自主事業の3つのねらい

「良い物づくり」や「良い知識吸収」を最良とするのではなく、人と人との「良い結びつき」を最良と考え、次の3つのねらいをもって自主事業を展開しています。

- ・地域の実情や住民のニーズを反映する。
- ・住民との「協働」による地域資源の活用、人材発掘や生きがいづくりを図る。
- ・地域ネットワークの構築とその広がりを目指す。

バランスを考慮したテーマ

- ・自主事業のねらいを意識して、子育て支援、青少年育成、高齢者支援、世代間交流など、参加対象者を年齢別にバランスよく考慮したテーマを設定して行います。
- ・体験学習、サークル活動支援や健康と生きがいを主なテーマとして、生涯学習教育に通ずる事業や仲間づくりへと発展する事業、さらに地域で長くいきいきと暮らす支えの健康づくり事業も応援します。
- ・一人暮らしの高齢者世帯などへの見守りやサポートといった地域の活動団体との協働により、人材発掘のきっかけや地域活動デビューなど地域や住民の活動支援と併せその活動拠点となる自主事業を展開し、地域ネットワークの構築と拡大の一助となるよう努めます。

自主事業計画の独自性と特徴

- ・中村地区センターには、市内地区センターの中で高齢者の利用割合が低く、勤労世代の利用者割合が高いにも拘わらず、夜間の稼働率が低いという実態があります。
- ・そこで、全体として利用者の確保を図る観点から、高齢者の健康維持、世代間交流の促進や生涯学習啓発といった様々な目的別事業を企画するとともに、夜間の時間帯に開講する工夫によって稼働率を上げ、利用者の増加や新たな交流につなげ、コミュニティの形成へと発展させます。
- ・未経験の街の先生を育てるための講座「街の先生デビューフェスタ」事業を開催し、この自主事業を通じて住民との「協働」を図り、地域資源の活用、人材の発掘や生きがいづくりを進めます。
- ・昨年の区制70周年を契機に、協会が管理する地区センターやコミュニティハウスのネットワークを活かし、「南区の歴史とまちなみ散歩」という事業を地域ごとに開催しておりますが、引き続き、区民に「郷土の歴史を学び・郷土愛を育む」という南区ならではの事業も提供していきます。
- ・自主事業の中に日本の伝統文化や風習を伝える季節の年中行事を取り入れることで、地区の特徴である多くの外国人居住者には親しみ感じ、地域の方には懐かしんでいただくことで相互理解を進めます。

実現するための施策

- ・中村地区センターの情報をより多くの方にお届けできるよう、広報紙への掲載はもとより、町内会・自治会掲示板への掲示、タウン誌への掲載、ホームページ等を活用していきます。
特に町内会に対しては、毎月の定例会に出席し、利用者のニーズ把握に努めるとともに、館の活動状況の報告など、積極的なPRに努めます。また、外国人の利用者へも正確な情報が行きわたるよう外国語による案内も行います。
- ・「中村地区センターに行けば、なにか楽しいことに出会えるかも・・・!」、そんなワクワク感を持っていたけりような事業を、参加しやすい料金で多数、企画することで参加者増を図ります。

(6) 施設の維持管理計画

経年劣化

中村地区センターは、前施設の改修により平成17年から開館しているため、館内随所に経年劣化による要修繕箇所が散在します。毎日の巡視点検を重視して傷は小さなうちに、設備の不具合は軽度のうちに、的確に修繕を実施し、建物や設備の長寿命化を図ります。

委託業者による保守点検においても経年劣化による補修や交換が指摘されており、「安全」を優先順位の基準として、順次補修を繰り返しています。

保守委託

施設利用の「安全」と「安心」を確保するために、専門知識と技術の必要なセクションでは、右表のとおり専門業者に保守委託をして、法定点検や機能維持点検を行い、施設の維持管理に努めます。

項目	業 務	内 容	年回数
電気・ 機械設備	設備総合巡視	設備巡視点検	12回
	空調設備保守	空調機保守点検及び冷暖房機器保守点検(中央監視装置点検)	4回
	電気設備点検(高圧受電) 電気工作物保安管理	月次点検(隔月1回)年次点検	6回
衛生管理	冷却水保守	レジオネラ属菌検査	
		冷却水水質分析	
建物等	消防用設備保守	定期点検	2回
	昇降機保守	定期点検	12回
	自動ドア保守	定期点検	4回
	防犯警備委託	機械警備・設備点検	通年
清掃等	清掃業務	床清掃(洗浄・ワックス)	部位により 2~6回
		全館ガラス清掃	4回 高所は2回
		体育室フローリング	3回
	植栽管理	剪定、除草、消毒	1回
	害虫駆除	殺虫剤塗布、散布	2
	飲料用冷却水機保守	冷却水機保守点検	1
	定期ガス設備点検	ガス漏れ検査	3年に1回 次回H28年

自主管理

- ・朝スタッフが開館前30分に出勤し、館前の歩道清掃のボランティア活動のほか、日常的な館内清掃を毎日行います。
- ・午前・午後・夜間の時間帯に各一回以上職員が館内を巡視点検して異常個所の早期発見に努め、故障や被害の拡大を未然に防止します。
- ・建物の軽易な修理やテーブルの損傷個所の補修など専門的な技術を要しない修繕は、職員自らが行うこととし経費の削減を図ります。

(7) 収支計画(収入計画)

- ア 収入計画の考え方について
- イ 増収策について(※地区センターのみ該当)

ア 収入計画の考え方について

現在中村地区センターの収入には、利用料収入・自主事業収入・雑収入(コピー/印刷・自販機等)があります。

利用料金収入

利用料金収入は、施設の円滑かつ良好な管理運営を行う上で、指定管理料とともに重要であり、主要な自主財源にあたります。また、利用料金収入は、施設が有効活用されているかの指標ともなり、部屋の稼働率を上げることが課題と考えますので、有料の団体利用枠の拡大や申込時間経過に伴う料金の軽減などの工夫により、部屋の稼働率向上を第一と考え、その増収を図っていきます。

自主事業収入

自主事業収入は自主事業の参加費ですが、参加費は材料費及び資料代に充てるものでありますので、適正な参加料金を設定して全てが参加者に還元されます。自主事業収入計画では増収を目的とせず、まずはじめに、事業への参加意欲を高め、利用者の自主的な活動を促すために、身近なテーマを企画し、より多くの人が参加できるように利用者コストの低減化を図り、講座数と参加人数の増加を目指します。

雑収入(コピー/印刷・自販機)

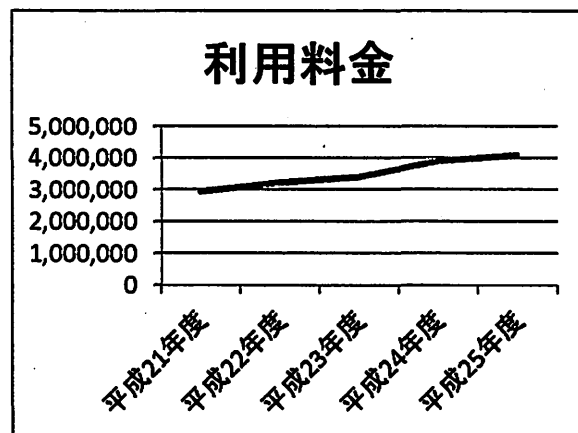
- ・コピー/印刷は利用者ニーズへのサービス対応であり、増収を計画はしませんが、印刷に関しては近隣施設との料金格差が大きく、料金の変更も視野に入れての計画が必要です。
- ・飲料自販機は収入の多寡よりも、より多くの利用者ニーズに対応できるように飲料の種類などを販売業者とも協議しながら計画していきます。
- ・ごみの減量化を進めつつ、分別を徹底することで資源化率の向上を目指し、雑収入増に繋がります。

イ 増収策について

利用料収入の増収策

平成21年度から平成25年度までの5年間で利用料収入は着実に増加傾向にあります。平成25年度の年間利用料額は4,097,720円ですが、利用率を向上させることによりさらなる増収を目指します。

- ・自主事業終了後もサークル化して活動の継続に結び付くよう手軽で魅力的な自主事業を企画して、新規サークルの利用につなげます。
- ・利用者ニーズの中から新たな活動内容に応えられる備品・設備を整えることで、新たな利用者を獲得し、利用料金収入のアップを図ります。
(麻雀用具/H25、プロジェクター/H25等)
- ・体育室の団体平均利用率が90%を超えているため、今後の推移によっては、体育室の団体利用枠を現在の5割から6割に拡大します。



(7) 収支計画(支出計画)
ウ 支出計画の考え方について

■ 予算の範囲内での適正な支出計画を推進します。

人件費

- ・当協会が複数の施設を統括して管理運営することのスケールメリットを徹底して追及することにより、支出の削減・縮減化を図ります。
- ・効率的・効果的に業務を推進することによって、職員の健康管理にも配慮し不要・不急の超過勤務をなくすことにより、最小の経費で最大の効果を生み出していきます。

事務費

- ・備品・消耗品は、快適な施設利用のために欠かせないものを除き、必要最低限の購入にとどめ、節約できる消耗品の探求に力を注ぎます。
- ・余剰の備品や消耗品等は、スケールメリットをいかして協会内でリサイクル活用し、購入の無駄を省きます。さらに、自主事業で使用する講座用 PC (20台) の共用などスケールメリットの利点を追求していきます。
- ・商品情報を積極的に収集しながら安価で効率のよい購入に努めます。

管理費

- ・安全な施設利用の妨げとなる不具合には迅速に対応し、利用者が「ヒヤリ・ハット」を経験することのないよう努めます。
- ・業者への発注による修繕は、自前による修繕が避けられない必要最小限の範囲内に止める努力をしたうえで、発注することにより経費の低減化を図ります。
- ・管理委託では、複数の施設を運営管理しているスケールメリットを活かし、協会内での契約の集約化や複数年化を図ることにより、より安価な委託契約を追求します。
- ・利用者の皆さんに不必要な照明の消灯や空調温度の設定調節などについて啓発し、理解を得ながら電気使用料の節減に努めます。
- ・また、省エネ・節電対策として対22年度10%以上かつ前年度を下回る電力使用量削減を目標に掲げ、毎月電気・ガス等の使用量・使用料金を管理し、横浜市が取り組む「公共施設のより一層の省エネの推進」を図り、通年の省エネ(総量削減)に取り組みます。
- ・前述した「緑のカーテンプロジェクト」のように、日常的に光熱水費などの経費を見据えた管理運営を心がけます。

事業費

- ・身近な材料を利用した「エコライフ応援講座」を数多く実施することで、限られた予算を最大限に有効利用していきます。
- ・職員が率先して講師を務めることにより、限られた予算を最大限に有効利用していきます。
- ・「おらが地域」の「身近な講師」を発掘・育成することで、限られた予算を最大限に有効利用していきます。

★「講師謝金の経費」を抑えることによって、「講座の数」を増やします。

★「材料費・資料代」を抑えることによって、「参加者数」を増やします。

横浜市 中村地区センター 自主事業計画書

団体名 みなみ区民利用施設協会

事業名	① 募集対象	自主事業予算額					
	② 募集人数	総経費	収入		支出		
	③ 一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
子どもと一緒に 本を読もう	① 未就学児と保護者	5,000	5,000	0	5,000	0	0
	② 30人						
	③ 0円						
親子で遊ぼう ～読み聞かせと手遊び～	① 未就学児と保護者	30,000	30,000	0	30,000	0	0
	② 300人						
	③ 0円						
スポーツチャンバラ	① 小学生・保護者	100,000	70,000	30,000	100,000	0	0
	② 300人						
	③ 100円						
カブラであそぼ	① 小学生	0	0	0	0	0	0
	② 200人						
	③ 0円						
カラオケ交流会	① 成人	18,000	10,800	7,200	0	0	18,000
	② 72人						
	③ 100円						
中村交流会	① 60歳以上	6,000	6,000	0	0	6,000	0
	② 20人						
	③ 0円						
母国のお料理紹介講座	① 成人	39,000	21,000	18,000	18,000	18,000	3,000
	② 36人						
	③ 500円						
季節の花でアレンジの基本 を学ぼう	① 成人	35,000	15,800	19,200	20,000	15,000	0
	② 48人						
	③ 400円						
お手軽デザート作り	① 成人	60,000	24,000	36,000	36,000	6,000	18,000
	② 72人						
	③ 500円						
端午の節句を皆で祝おう	① どなたでも	10,000	10,000	0	0	10,000	0
	② 150人						
	③ 0円						
流行のジェルネイルに チャレンジ	① 成人	13,000	8,000	5,000	7,000	5,000	1,000
	② 10人						
	③ 500円						
備えは万全ですか？ 災害時に知っていたら 憂いなし	① どなたでも	9,000	9,000	0	6,000	3,000	0
	② 30人						
	③ 0円						
自力整体入門講座	① 成人	20,000	14,000	6,000	12,000	6,000	2,000
	② 12人						
	③ 500円						

事業名	① 募集対象	自主事業予算額					
	② 募集人数	総経費	収入		支出		
	③ 一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
プラネタリウム体験	① どなたでも	98,000	83,400	14,600	95,000	0	3,000
	② 146 人						
	③ 100 円						
七夕飾り	① どなたでも	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	② 150 人						
	③ 0 円						
キッズ英会話	① 小学生低学年以下	40,000	28,000	12,000	28,000	12,000	0
	② 12 人						
	③ 1,000 円						
夏休みの可愛い石鹸作り	① 小学生	16,000	15,000	1,000	10,000	5,000	1,000
	② 10 人						
	③ 100 円						
障がい者ボランティア体験	① どなたでも	11,000	11,000	0	5,000	5,000	1,000
	② 30 人						
	③ 0 円						
介護予防の予備知識	① 成人	6,000	6,000	0	6,000	0	0
	② 20 人						
	③ 0 円						
開館10周年記念 「レインボー・フェスタ」	① どなたでも	72,000	72,000	0	20,000	50,000	2,000
	② 1,000 人						
	③ 0 円						
お彼岸のお飾を作ろう	① 成人	19,000	7,000	12,000	7,000	12,000	0
	② 12 人						
	③ 1,000 円						
乳幼児の栄養学	① 乳幼児の保護者	11,000	11,000	0	5,000	5,000	1,000
	② 10 人						
	③ 0 円						
開館10周年記念カラオケ大会	① どなたでも	25,000	23,000	2,000	20,000	5,000	0
	② 20 人						
	③ 100 円						
自分で手作り、 デコってオシャレな ルーペ作り	① 成人	17,000	9,000	8,000	7,000	10,000	0
	② 10 人						
	③ 800 円						
飾り寿司にチャレンジ	① 成人	13,000	7,000	6,000	7,000	6,000	0
	② 12 人						
	③ 500 円						
ハロウィン祭り	① 未就学児と小学生	5,000	5,000	0	0	5,000	0
	② 150 人						
	③ 0 円						
身近にアロマを感じよう	① 成人	24,000	12,000	12,000	18,000	6,000	0
	② 12 人						
	③ 1,000 円						

事業名	① 募集対象	自主事業予算額					
	② 募集人数	総経費	収入		支出		
	③ 一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
魚のさばき方を学ぼう	① 成人	8,000	5,000	3,000	5,000	2,000	1,000
	② 10人						
	③ 300円						
みんなで楽しく歌おう	① 成人	40,500	34,500	6,000	36,000	4,500	0
	② 20人						
	③ 300円						
社交ダンス交流会	① 成人	47,000	35,000	12,000	15,000	30,000	2,000
	② 60人						
	③ 200円						
南区の歴史と町並み散歩	① 成人	15,000	6,000	9,000	5,000	9,000	1,000
	② 30人						
	③ 300円						
お正月の生花作り	① 成人	30,000	6,000	24,000	6,000	24,000	0
	② 12人						
	③ 2,000円						
クリスマスコンサート	① どなたでも	70,000	64,000	6,000	60,000	10,000	0
	② 60人						
	③ 100円						
クリスマスツリーを飾ろう	① 小学生	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	② 30人						
	③ 0円						
冬休み 和風作りの工作	① 小学生	16,000	10,000	6,000	10,000	5,000	1,000
	② 12人						
	③ 500円						
ヨガで健康体作り	① 成人	21,000	18,000	3,000	18,000	0	3,000
	② 10人						
	③ 300円						
クッキーに デコっちゃおう	① 小学生	12,500	10,500	2,000	9,000	2,500	1,000
	② 10人						
	③ 200円						
節分祭り	① どなたでも	3,000	3,000	0	0	3,000	0
	② 100人						
	③ 0円						
ひな人形を飾ろう	① 小学生	2,000	2,000	0	0	2,000	0
	② 150人						
	③ 0円						
すぐに役立つ旅行英会話	① 成人	40,000	28,000	12,000	28,000	12,000	0
	② 12人						
	③ 1,000円						
中村連合祭り	① どなたでも	20,000	20,000	0	0	20,000	0
	② 200人						
	③ 0円						

事業名	① 募集対象	自主事業予算額					
	② 募集人数	総経費	収入		支出		
	③ 一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
街の先生紹介フェスタ	① どなたでも	11,000	11,000	0	0	10,000	1,000
	② 60人						
	③ 0円						
街の先生デビューフェスタ	① 成人	21,000	21,000	0	0	20,000	1,000
	② 100人						
	③ 0円						
人形劇で楽しもう	① どなたでも	75,000	65,000	10,000	60,000	15,000	0
	② 100人						
	③ 100円						
合 計		1,141,000	859,000	282,000	714,000	366,000	61,000

事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市 中村地区センター 自主事業別計画書 (単表)

団体名 みなみ区民利用施設協会

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子どもと一緒に本を読もう	<p>【子育て支援】【体験・学習】</p> <p>絵本の読み聞かせによって、子どもたちが絵本や物語と出会い、想像を膨らませながら多くの言葉にふれることで、言語感覚を養い豊かな情操を育むことができます。保護者に対し、読み聞かせ等の大切さや意義を広く伝え、家庭での親子のふれあいを活かした読書活動が進められるきっかけづくりをします。</p>	<p>4月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で遊ぼう ～読み聞かせと手遊び～	<p>【子育て支援】【青少年育成】【出会いと交流】</p> <p>親子が一緒になって遊びながら気軽に本にふれる機会をつくり、母親同士が本の読み聞かせの場を通して情報交換し、育児不安の解消を図りながら、子ども同士や母親同士の交流に繋がることを目的とします。</p>	<p>4月～3月</p> <p>10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スポーツチャンバラ	<p>【青少年育成】 【世代間交流】</p> <p>スポーツチャンバラで大人も子どもも気軽に武道を体験し、その精神に触れながら礼儀作法などを学びます。 子どもの部・大人の部・親子の部を設けて大会なども開催することにより、幅広い世代の方の交流を図るとともに、地域の子どもたちを元気にし、健全な育成にも寄与します。</p>	<p>4月～3月</p> <p>10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カプラであそぼ	<p>【青少年育成】</p> <p>多くの子どもたちが参加して「カプラ」(フランス製のシンプルな積木)を使い、想像力豊かに思い思いのものを作りのびのびと遊びます。 子どもの想像力と集中力を高め、器用さと柔軟さを養うことにも繋がります。</p>	<p>4月～3月</p> <p>10回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カラオケ交流会	<p>【出会いと交流】【健康と生きがい】【高齢者支援】</p> <p>地域ののど自慢の方が多く参加するカラオケ交流会を開催し、地域の方の交流の場を提供します。参加者同士の交流に加え、職員との顔の見える関係づくりにもなります。 また歌うことにより脳の活性化や腹式呼吸を働かせることにより自然治癒力を養う健康づくりにも役立ちます。</p>	<p>4月～3月</p> <p>6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中村交流会	<p>【高齢者支援】【健康と生きがい】【地域活動の支援】</p> <p>地区の民生委員協議会と連携して、高齢者の引きこもり防止や健康維持の観点から、誰もが気軽に参加できる囲碁、将棋やマーじゃんなどにより、地域に住む高齢者の交流の機会をつくります。</p>	<p>4月～3月</p> <p>12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母国のお料理紹介講座	<p>【出会いと交流】【外国人との交流】</p> <p>「街の先生」として登録されている地域に暮らす外国人の方を講師に招き、講師の母国料理を学びながらその文化や慣習にふれ理解を深めることで交流を図ります。 また、外国人を講師にすることで地域に紹介し、地域でともに暮らす仲間づくりの支援をします。</p>	<p>4月～3月</p> <p>3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
季節の花でアレンジの基本を学ぼう	<p>【出会いと交流】【高齢者支援】</p> <p>季節の花を手軽に使い、フラワー・アレンジメントを身近に感じ、創作することで生け花とは違った花の味わいを鑑賞していただき、高齢者の方には、新たな交流の場になればと考えています。</p>	<p>4月～3月</p> <p>4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お手軽デザート作り	<p>【出会いと交流】【高齢者支援】【人材の発掘・活用】</p> <p>家庭で簡単に出来る季節のお菓子作りの講座です。 異色の食材も積極的に取り入れて、思いもよらないお菓子に合い、手づくりお菓子の楽しさが膨らみます。お菓子好きのお母さんが集まり、地域の高齢者サロンでの活動支援をする人材にも繋げればと考えています。</p>	<p>4月～3月</p> <p>6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
端午の節句を皆で祝おう	<p>【青少年育成】【外国人との交流】</p> <p>来館するこどもたちが「ミニこいのぼり」に絵や文字を書いた自慢のこいのぼりを館内に飾る、こども祭りを企画します。 こども祭りでは、外国人のこどもも参加し、大きなこいのぼりをみんなで協力し合って作り、こども同士の交流が図れればと考えています。</p>	<p>5月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
流行の ジェルネイルに チャレンジ	<p>【健康と生きがい】 【高齢者支援】</p> <p>ジェルネイルの付け爪作りの事業を開催し、「ネイルサロンは気後れする」という高齢の方にも気軽に参加できるよう案内します。指先を飾ることで気持ちを若返らせ、日々の生活も生き生きとし、健康で元気な生活に繋がります。</p>	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
備えは万全ですか？「災害時に知っていたら憂いなし」	<p>【体験・学習】 【地域活動の支援】</p> <p>中村連合町内会と連携して、家庭でできる防災と災害時の避難場所を確認する講座を開きます。 夏季と冬季での備えが異なるため、年2回開催し、家庭で手軽に準備できる防災グッズなどを紹介するとともに、地域の防災意識が高まるよう啓発し、地域の活動を支援します。</p>	5月・9月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自力整体 入門講座	<p>【体験・学習】 【健康と生きがい】</p> <p>自分で出来る背骨矯正やツボ押しなどをプロの整体師から学び、日々の自己ケアにつなげ、健康の維持・増進を図ります。 仕事帰りのサラリーマンの方を中心に行うことから、夜間の時間帯に開催します。</p>	6月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラネタリウム 体験	<p>【体験・学習】 【青少年育成】</p> <p>移動式プラネタリウムを体験するとともに、天体宇宙検定「星空博士」の方から「星のソムリエ」などのお話も伺います。 通常は鮮明に見ることのできない星空をプラネタリウムで見ることにより、宇宙の壮大さを体感し、親子で宇宙空間への夢を膨らませ楽しむイベントです。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕飾り	<p>【青少年育成】 【外国人との交流】</p> <p>来館者が願い事を書いた短冊を笹につけて館内に飾ります。 日本の伝統的な季節行事を取り入れ、次世代の子どもたちにつなげるとともに、外国人の異文化体験の機会とし、地域の方との交流を深めます。</p>	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズ英会話	<p>【青少年育成】 【外国人との交流】</p> <p>外国人の多い中村地区の地域コミュニケーションアップを子どものうちから育てることをねらいとして、未就学児から夏休み中の小学生低学年を対象に、身近で楽しく触れる英会話を開催します。</p> <p>子どものうちから地域で理解し合い、ともに暮らす意識を育てます。</p>	8月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休みの 可愛い石鹸作り	<p>【青少年育成】 【体験学習】</p> <p>夏休みの子ども向け工作として、環境にやさしい無香料の素材を活用した可愛い手づくりの石鹸をつくります。石鹸作りを通して衛生習慣についても学びます。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害者ボランティア体験	<p>【体験・学習】 【出会いと交流】 【障害者支援】</p> <p>中村地区のお祭りに合わせて、隣接する障害者支援の地域活動ホームの協力を得て、障害者に対する様々なボランティア活動を紹介し、ボランティア活動の体験を通して、障害者に理解のある人材を広く発掘します。</p>	8月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防の 予備知識	<p>【高齢者支援】 【人材の発掘・活用】 【地域活動の支援】</p> <p>中村地域ケアプラザの協力を得ながら、介護現場の様子をわかりやすく紹介し、介護の予備知識や予防のヒントを学びます。</p> <p>また、参加した方が一人暮らし高齢者世帯への見守りや要介護者を抱える家族のサポートといった地域活動の人材となり、地域活動の支援となればと考えています。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
開館10周年記念 「レインボー・フェスタ」	<p>【出会いと交流】 【サークル支援】 【世代間交流】</p> <p>地域のお祭り「レインボーフェスタ」に、協賛団体として積極的に参加し、地域に根ざした施設を目指します。</p> <p>活動団体の日頃の成果や作品の発表の場を設けて、団体活動が発展する支援を行うとともに、幅広い世代の交流を図ります。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お彼岸のお飾り を作ろう	<p>【体験・学習】【世代間交流】</p> <p>暑い気候に関係なく長く飾れるお彼岸用のお仏壇飾りをアートフラワーを使って作成する講座を開きます。高齢者だけでなく若い次の世代を担う年齢層の方にも参加を募り、お彼岸行事を考える機会になればと考えます。</p>	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
乳幼児の栄養学	<p>【子育て支援】【出会いと交流】</p> <p>こどもの健やかな成長に大切な、食物の栄養学を学ぶ講座で子育てを支援します。お母さんの講座ですが、乳幼児と一緒に受講できるように室内に子どものスペースを設け参加しやすく工夫をします。 事業への参加を通して、気軽にプレイルームに訪れるきっかけとなり、若いお母さんが孤立せず母親同士の交流に役立つと考えています。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
開館10周年記念 カラオケ大会	<p>【高齢者支援】【外国人との交流】【世代間交流】</p> <p>日頃センターを利用しない方も、のど自慢という特技で参加を募り、こどもから高齢者や外国人も含めた多くの方が気軽に参加できるよう演出します。 大会では、点数制を設けて参加者が自慢ののどを競って盛り上がり、音楽を通じた地域での新たな出会いと交流づくりのきっかけづくりとします。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
自分で手作り、 デコってオシャレな ルーペ作り	<p>【体験・学習】【高齢者支援】</p> <p>引きこもりがちな高齢者向けにルーペに飾りを施したオリジナル作品作りを体験していただきます。 小さな文字を見るのも、外出時にバックからルーペを出すのも楽しくなるように、可愛くデコレーションします。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
飾り寿司に チャレンジ	<p>【体験・学習】【高齢者支援】【人材の発掘・活用】</p> <p>自宅ではあまり作らない巻きずしの基本から飾り寿司までを地域のお寿司屋さんから学びます。 コツをつかんで簡単に恵方巻など季節の行事に合う料理を習い、家族の団欒のきっかけ作りとしたり、地域で活動するボランティアの「食事会」の活動でも腕を振るっていただければと考えています。</p>	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハロウィン祭り	<p>【外国人との交流】【青少年育成】</p> <p>子どもたちを対象にハロウィン祭りを行い、子どもたちにお菓子を配ります。当日は、スタッフも一緒になって仮装して雰囲気を出すことで地域との一体感をつくります。</p> <p>子どもたちには、外国の季節行事を通じて異文化を知る機会とし、参加した子どもたちが、今後、センターに立ち寄るきっかけになればと考えています。</p>	<p>10月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
身近にアロマを感じよう	<p>【体験・学習】【健康と生きがい】</p> <p>肉体的だけでなく精神的にも健康に暮らすことが、快適な生活を送る上では大切です。</p> <p>日常生活の中で感じるストレスを「アロマ」によって上手に解消することで癒しを与え、健康の維持・増進に役立てばと考えています。</p>	<p>11月</p> <p>3回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
魚のさばき方を学ぼう	<p>【体験・学習】【人材の発掘・活用】</p> <p>核家族化の進行に伴い、これまで包丁の使い方や魚をさばく手順など、親から子どもへと家庭で伝承されてきた料理技が消えようとしています。この自主事業は、地域の魚屋さんを講師として、「魚のさばき方を学ぶ」という、地域の人材資源を活用する事業です。</p>	<p>11月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
みんなで楽しく歌おう	<p>【出会いと交流】【高齢者支援】【世代間交流】</p> <p>童謡や日本の懐かしい歌を好きな方が集い、講師から発声などの基本的な歌い方を学び、参加者みんなが仲良く、楽しくピアノ伴奏つきで歌う企画です。</p> <p>懐かしい歌を歌うことで、一体感が生まれ新しい出会いと交流に繋がるとともに、お腹の底から元気に歌うことにより健康的な効果も期待できると考えています。</p>	<p>11月</p> <p>4回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンス交流会	<p>【サークル支援】【健康と生きがい】【世代間交流】</p> <p>利用団体や社交ダンスに親しんでいる地域の方を中心に交流を図る場として、本格的なプロのダンサーも招いて開催します。</p> <p>ダンスを通じて、老若男女が生き生きとコミュニケーションを図り、あらたな出会いと交流が生まれ、生きがいのステージにもなると考えています。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区の歴史と町並み散歩	<p>【体験・学習】【出会いと交流】【サークル支援】</p> <p>浦舟コミュニティハウスと連携して、複数年連続企画とする「南区の歴史と町並み散歩」の講座を開きます。 座学と健康ウォーキングを交えた講座で、郷土の歴史を学び、郷土愛を育むことにより、地域の連帯意識を高めサークルづくりのお手伝いをします。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月の生花作り	<p>【体験・学習】【出会いと交流】【世代間交流】</p> <p>お正月の彩りを添える飾りものをアレンジして創作する事業です。 豪華な生花を使いながら長く鑑賞できるお正月飾りの花にアレンジします。新しい飾り付け方法や飾り物を創造する体験から、世代を超えた参加者同士の絆が生まれればと考えています。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	<p>【世代間交流】【外国人との交流】【人材の発掘・活用】</p> <p>地域の子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる楽曲を選曲し、クリスマスコンサートを開催します。コンサートの参加を通じて外国人の方も交えた地域の交流が盛んになると考えています。 また、演奏にあたっては、地域の人材資源の活用という視点から、フルート演奏活動の団体をお願いします。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスツリーを飾ろう	<p>【体験・学習】【出会いと交流】【青少年育成】</p> <p>子どもたちが、一緒になってクリスマスツリーの飾りつけを行うことにより、子どもたちの新たな交流のきっかけとなるとともに、互いに協力し合うことにより、社会性も身につければと考えています。また、施設に親しみを感じ、今後の利用にも繋がればと考えています。</p>	<p>12月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬休み和風作りの工作	<p>【青少年育成】【体験学習】</p> <p>お正月に向けてキットを使った和風を作り、日本の伝統文化を伝承する機会とします。また、「日本風の会」から講師を招き、本格的な和風を揚げる実演もし、正月ならではの日本の昔遊びを楽しみ、親しんでいただくことにより地域の交流を図ります。</p>	<p>1月</p> <p>1回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヨガで 健康体作り	<p>【体験・学習】【健康と生きがい】</p> <p>仕事帰りの方を対象にヨガ講座により、健康の維持と増進を図るとともに、新たな仲間づくりを支援します。和室を使うことによつてくつろいだ気分で参加していただくこととし、夜間の時間帯を有効に活用します。</p>	1月 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クッキーに デコっちゃおう	<p>【青少年育成】【体験・学習】【障害者支援】</p> <p>子どもたちが、楽しく交流しながらクッキーをデコレーションして自慢のお菓子を作ります。 自分で食べ物をつくることで、「食に関する感謝の心」「食事マナー」など食育を学んだり、また、地域作業所で製造されたクッキーを素材にすることで障害者を理解するきっかけになればと考えています。</p>	2月 1回

節分祭り	<p>【体験・学習】【出会いと交流】【外国人との交流】</p> <p>節分の日に、来館した皆さんに、色とりどりの鬼のお面づくりに参加していただき、豆まき用の豆を配ります。 また、節分の日の鬼退治や豆まきなど伝統行事のいわれなども紹介することで次世代に伝承し、外国人には日本の文化・風習を理解するきっかけとなり、ともに社会で仲良く生活できる土壌づくりになればと考えています。</p>	2月 1回
------	--	----------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひな人形を 飾ろう	<p>【体験・学習】【出会いと交流】</p> <p>子どもたちとスタッフが一緒になってひな人形を飾ります。 子どもたちが壊れやすいひな人形の飾りつけを通して、「ものを大切に扱うよう」心を養います。また、ひな祭りの行事に触れることで来館者が親しみを持ち、交流の場となればと考えています。</p>	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すぐ役立つ 旅行英会話	<p>【体験・学習】【人材の発掘・活用】【外国人との交流】</p> <p>近隣に在住する外国人講師によるわかりやすく、すぐ役立つ旅行用の英会話講座です。 外国人による指導のため、外国人に対する気おくれを緩和し、スムーズにマスターできるのではと考えています。また、講座を通じて、外国文化を知る機会となり、外国人との今後の交流に繋がればと考えています。</p>	2月～3月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中村連合祭り	<p>【出会いと交流】【世代間交流】【地域活動の支援】</p> <p>中村地区連合町内会が主催する地域の連帯感を高めるイベントに共催するとともに、参加者の多くが楽しめる出し物を出店し、出会いと交流の場をつくります。 また、共催することで地域活動を応援し、地域力アップに貢献できればと考えています。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
街の先生紹介フェスタ	<p>【出会いと交流】【サークル支援】【健康と生きがい】</p> <p>多文化共生ラウンジ主催の事業に協賛して「街の先生紹介フェスタ」を開きます。 「街の先生」の活動成果である作品展示や発表会を通して、参加者自身の生涯学習のきっかけとなるような働きかけをし、「生きがいづくり」や「サークル活動」に役立てばと考えています。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
街の先生デビューフェスタ	<p>【体験・学習】【出会いと交流】【人材の発掘・活用】</p> <p>街の先生たちが、講師となって「それぞれの講座」や「講座の進め方」を紹介するための、無料講座をセンターが企画し、講師の育成に繋がります。また、様々な講座の体験を通して参加者の出会いと交流の場となり、生涯学習のきっかけになればと考えています。</p>	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人形劇で楽しもう	<p>【青少年育成】【出会いと交流】</p> <p>プロの人形劇団による楽しいお話の中に公共のマナーや施設の利用方法を学ぶ内容を取り入れて、子どもたちの健全な育成や新たな交流につながればと考えています。</p>	3月 1回

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 みなみ区民利用施設協会
施設名	横浜市中村地区センター

平成27年度収支予算書(兼指定管理料提案書)

I. 指定管理料

(単位:円)

提案額(a) (消費税及び地方消費税(8%)を含む)	32,512,000
-------------------------------	------------

指定管理料＝小計【イ】を記入
※区指定上限額(b)の範囲内で提案してください。

※区指定上限額(b)	32,872,000
------------	------------

差引(a)－(b)	▲ 360,000
提案額の区指定上限額に対する割合(a)／(b)	98.9%

II. 平成27年度収支予算書(総括表)

1 収入の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
利用料金収入 [A]	4,320	
自主事業収入 [B]	282	
雑入 [C]	1,160	
小計【ア】(A+B+C)	5,762	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	31,072	【ウ】－【ア】
指定管理料②(ニーズ対応費分) [E]	1,440	[A]×1/3
小計【イ】(D+E)	32,512	指定管理料の計
【イ】のうち利用料金収入 [A]の補填額(★)	123	[A]÷1.05×1.08－[A]
収入合計(【ア】+【イ】)	38,274	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位:千円)	備考
人件費 [a]	21,819	
事務費 [b]	1,741	
自主事業費 [c]	1,141	
管理費A(光熱水費等) [d]	4,992	
管理費B(保守管理費等) [e]	4,628	
公租公課 [f]	962	
事務経費 [g]	1,551	
小計【ウ】(a+g)	36,834	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h](=[E])	1,440	[E]と同額になります。
小計【エ】(h)	1,440	ニーズ対応費の計
支出合計(【ウ】+【エ】)	38,274	

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。(全て8%で計算してください。)

★消費税が8%となりましたが、現段階では利用料金は据え置きとしています。平成26年度は平成24年度実績を元に利用料金収入の増税分の補填を行っています。平成27年度以降の対応については市で検討中ですが、ここでは利用料金収入 [A]に対して3%の補填を行うことを想定して記入してください。

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 みなみ区民利用施設協会
施設名	横浜市中村地区センター

平成27年度収支予算書

1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
利用料金収入			ア	4320
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
			カ	
			キ	
			ク	
			ケ	
		小 計		[A]
自主事業収入	参加費収入		コ	282
			サ	
			シ	
			ス	
			セ	
		小 計		[B]
雑入	印刷代收り		ソ	130
	自販機収入		タ	1000
	ロッカー代收り		チ	30
			ツ	
			テ	
			ト	
		小 計		[C]
小 計 【ア】		施設運営収入計		5762 [A]~[C]

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。(全て8%で計算してください。)

単独団体名・共同事業体名	特定非営利活動法人 みなみ区民利用施設協会
施設名	横浜市中村地区センター

平成27年度収支予算書

2 支出の部内訳(ニース対応費除く)

(単位:千円)

	項目	内容等	金額	
人件費	常勤職員		ア 12,116	
	時給スタッフ		イ 9,703	
			ウ	
	小計		[a] 21,819	ア～ウ
事務費			[b] 1,741	
自主事業費			[c] 1,141	
管理費A	電気料金		エ 3,239	
	ガス料金		オ 1,224	
	上下水道料金		カ 529	
	小計		[d] 4,992	エ～カ
管理費B	修繕費		キ 1,000	
	清掃		ク 800	
	消防設備		ケ 88	
	機械警備		コ 324	
	空調設備		サ 886	
	エレベーター		シ 431	
	自動ドア		ス 191	
	電気保守管理点検		セ 160	
	非常用放送設備		ソ	
	害虫駆除		タ 75	
	植栽管理		チ 415	
	設備総合巡視点検		ツ 206	
	その他	飲料用冷水機点検	テ 52	
			ト	
			ナ	
		ニ		
小計		[e] 4,628	キ～ニ	
公租公課			[f] 962	
事務経費	(労務、経理、契約、職員研修など)		[g] 1,551	

小計【ウ】	施設管理運営経費計	36,834	[a]～[g]
-------	-----------	--------	---------

※金額は、消費税及び地方消費税込みの額を記載してください。(全て8%で計算してください。)

(各内訳には課税取引分の消費税及び地方消費税額を含んだ金額を記載、公租公課欄には仕入税額控除後の見込額を計上)